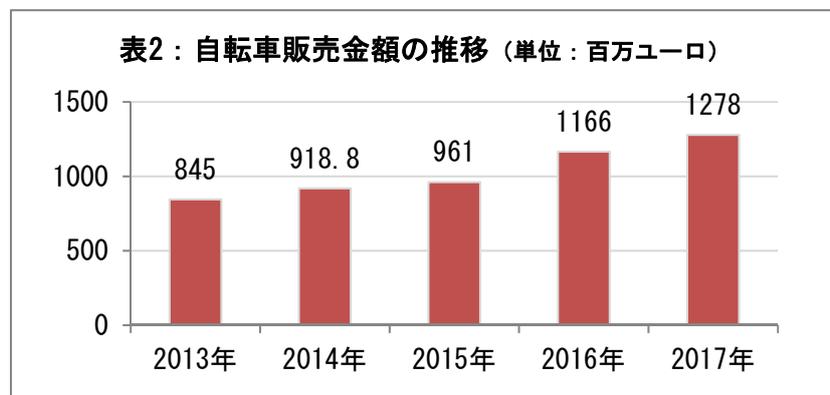
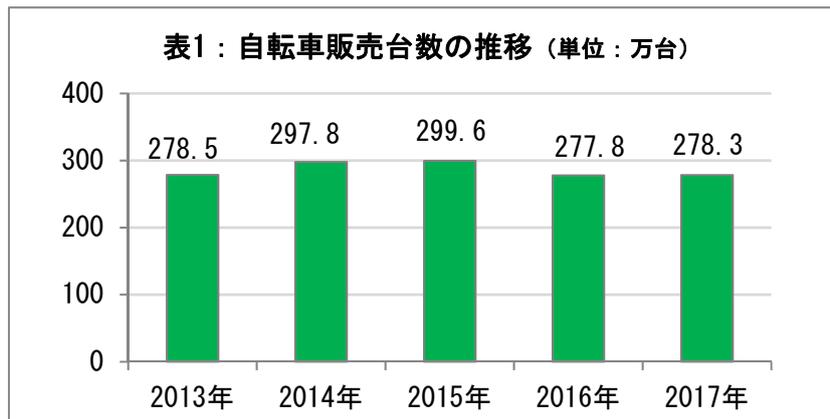


## フランス自転車市況－2017

### 1. 販売

2017年の自転車販売台数は278.3万台となり、前年比0.2%増とほぼ横ばいであった。2017年の自転車販売金額は前年比9.6%増の1,278百万ユーロ(1,661億円)に達し、ここ5年間でみると増加を続けている。また、部品・付属品(P&A)の販売金額は、前年比6%増の749百万ユーロ(974億円)となった。



車種別販売動向では、EPACが販売台数と販売金額ともに前年より9割増しの急激な伸びを見せた。また、折りたたみ車は販売台数が前年より1割増し販売金額は2割増しと好調であったが、幼児・子供車は前年並みにとどまり、ロードバイク、シティ車及びMTBは販売台数・金額ともに前年よりわずかに減少、トレッキング車は1割減、更にBMXは3割減と特に販売が不振であった。

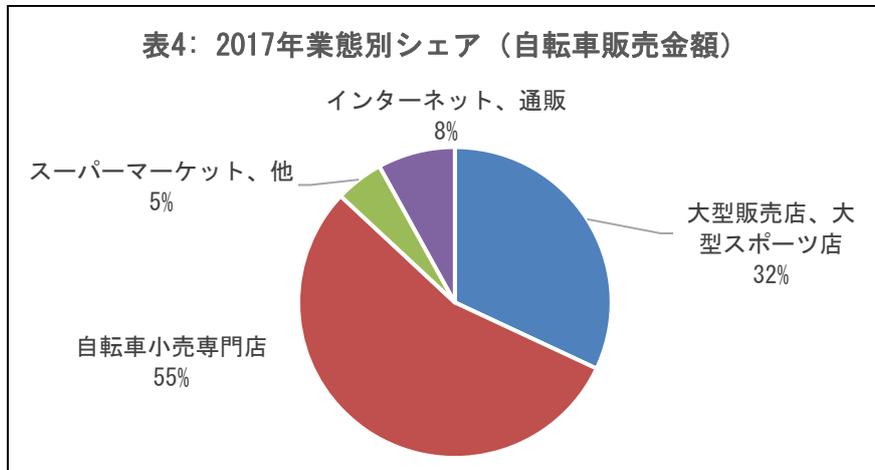
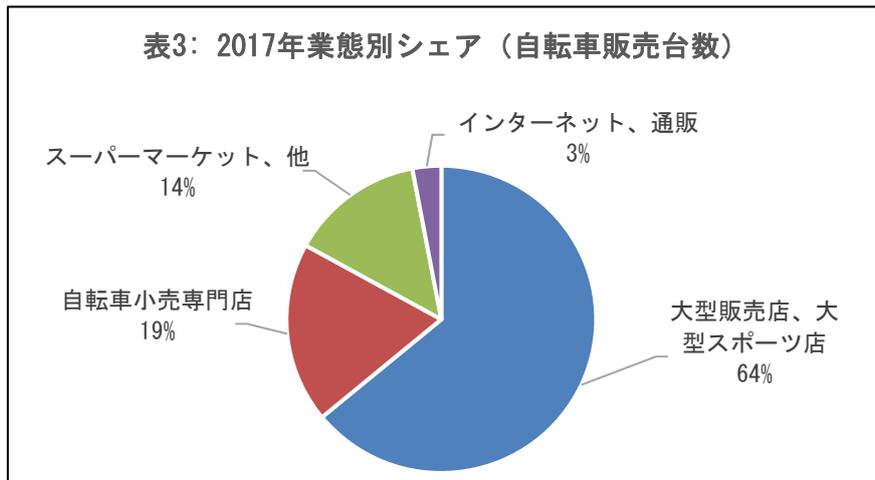
2017年の全車種の自転車平均販売価格は、前年比9%上昇の459ユーロ(59,670円)となり、5年続けて上昇している。平均販売価格が上昇を続けている主な要因は、販売単価の高い電動アシスト自転車(EPAC)の販売台数が年々増えているためとみられる。

車種別の平均販売価格では、EPACが1,564ユーロ(203,320円)で最も高額であり、次いでロードバイクが1,404ユーロ(182,250円)となっている。以降、MTBが396ユーロ(51,480円)、トレッキング車339ユーロ(44,070円)、折りたたみ車333ユーロ(43,290円)及びシテ

ィ車 330 ユーロ (42,900 円) と概ね 300 ユーロ台の平均販売価格となり、幼児・子供車は 113 ユーロ (14,690 円) であった。

## 2. 業態別販売動向

フランス市場では、依然として Decathlon 等の大型販売店・大型スポーツ店が自転車販売台数シェアの 64% と最多を占める。次いで自転車小売専門店が 19%、スーパーマーケット等の量販が 14% 及びインターネット通販は 3% となっている。しかしながら、自転車販売金額ベースでみると、大型販売店・大型スポーツ店は 32% にとどまる一方で、自転車小売専門店のシェアは過半数を占める 55% となっている。更にスーパーマーケット等の量販は 5%、インターネット・通販は 8% である。

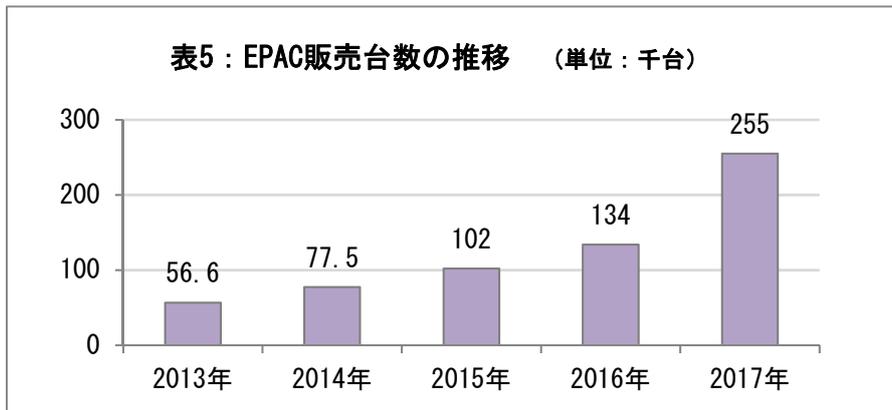


なお、2017 年部品・付属品 (P&A) の販売金額における業態別シェアは、大型販売店・大型スポーツ店が 35%、自転車小売専門店は 34% と両者は拮抗し、更にインターネット通販も 28% を占めているが、その一方で量販等はわずか 2% となっている。

## 3. EPAC 販売動向

2017 年フランスの電動アシスト自転車 (EPAC) の販売台数は、前年比より 90% 増の 25.5 万台となり、高い伸び率を見せた 2016 年を更に上回る勢いを見せた。中でもシティ/トレッキング車タイプの EPAC 販売台数は 22 万台となり、EPAC 販売全体の 86% を占めている。また、現在ドイツを中心に欧州市場において急速に人気が高まる電動マウンテンバイク (E-MTB) も、

2017年フランスにおける販売台数は3.5万台(前年1.5万台)と増加を続けており、近年はE-MTBを扱う自国ブランドも増え、同国EPACブームの今後の勢いを見定める上でもE-MTBが更にどこまで伸びるのか注目したい。



フランスのE-MTB (上段：ラピエール、下段：MOUSTACHE)

以上

統計出所： Union Sport & Cycle

写真： EUROBIKE2018にて筆者撮影